

御岳山の動植物

御岳山を覆うミズナラ、スギやモミの深い森には、ニホンカモシカ、ツキノワグマ、タヌキなどが生息しています。この辺りの森は、夜行性のムササビの住処になっています。ムササビは鼻の先から尻尾の先までで最大 80 センチにまで成長しますが、小さめのモモンガなどは全長 25 センチ程度です。

数十種類の鳥類もこの辺りに棲息しており、目の利く野鳥観察家なら、夏季の小川付近でスズメと同じくらいの大きさの、腹部が黄色いキビタキも見つけることができるかもしれません。冬に見かけられることが多い、長い尻尾が特徴のベニマシコも同じくらいの大きさで、オスの羽は赤く、メスは茶色です。

御岳山には 8 種類のヘビが棲息しています。その中でも最大のアオダイショウは毒を持たず、最長 2 メートルにまで成長します。ヤマカガシとマムシの 2 種類が毒を持っています。御岳ビジターセンターでは、ヘビやこの辺りの他の動物に関する情報を提供しています。

春から夏にかけては、御岳山にたくさんの花々が咲きます。縁がピンクのイワウチワは、4 月下旬から 5 月にかけて、岩の多いエリアで見つけることができます。薄紫色のレンゲショウマは、夏季になると山腹に咲き乱れます。